ゆるふわ非構造 #1 (LT 5min) fluentdで非構造化データとゆるふわっと戯れる会前処理後のデータ

2014/09/28 高橋達 @nora96o

自己紹介

名前:

髙橋達(たかはしとおる)

Twitter:

@nora96o

普段:

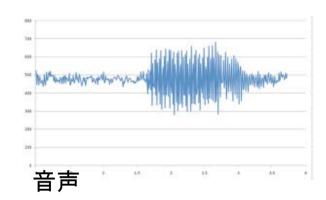
ビッグデータ分析基盤のシステム構築・支援

Like:

TreasureData / AWS / Ruby / fluentd / Tableau



前処理後のデータはどうするの?





HTML



『彼女は大学で勉強します』を形態素解析すると?

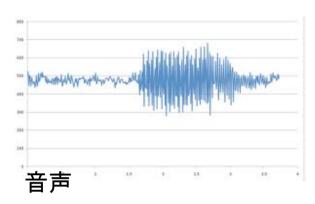
文字列	読み	原形	品詞の種類	活用の種類	活用形
彼女	カノジョ	彼女	代名詞 人称		
は	ワ	は	副助詞 は		
大学	ダイガク	大学	普通名詞		
で	デ	で	格助詞で		
勉強	ベンキョウ	勉強	さ変名詞		
し	シ	する	動詞	き変	連用
ます	マス	ます	助動詞	ます	終止

テキスト

- -- [09/Sep/2014:00:50:21 +0900] "GET /kibana/app/dashboards/default.json?1410191421455 HTTP/1.1" 200 4140
- - [09/Sep/2014:00:50:25 +0900] "GET /kibana/app/dashboards/noted.json?1410191425722 HTTP/1.1" 200 4101
- - [09/Sep/2014:00:50:29 +0900] "GET /kibana/app/dashboards/default.json?1410191429288 HTTP/1.1" 200 4140
- [09/Sep/2014:00:50:30 +0900] "GET /kibana/app/dashboards/logstash.json?1410191430626 HTTP/1.1" 200 4674

システムログ

前処理後のデータはどうするの?



このあたりの前処理後の話



画像



Webページ

				3	
文字列	読み			活用の種類	活用形
彼女	カノジョ	彼女	100		
は	ワ	は	副助詞は		
大学	ダイガク	大学	普通名詞		
で	デ	で	格助詞で		
勉強	ベンキョウ	勉強	さ変名詞		
し	シ	する	動詞	さ変	連,
ます	マス	ます	助動詞	ます	終止

テキスト

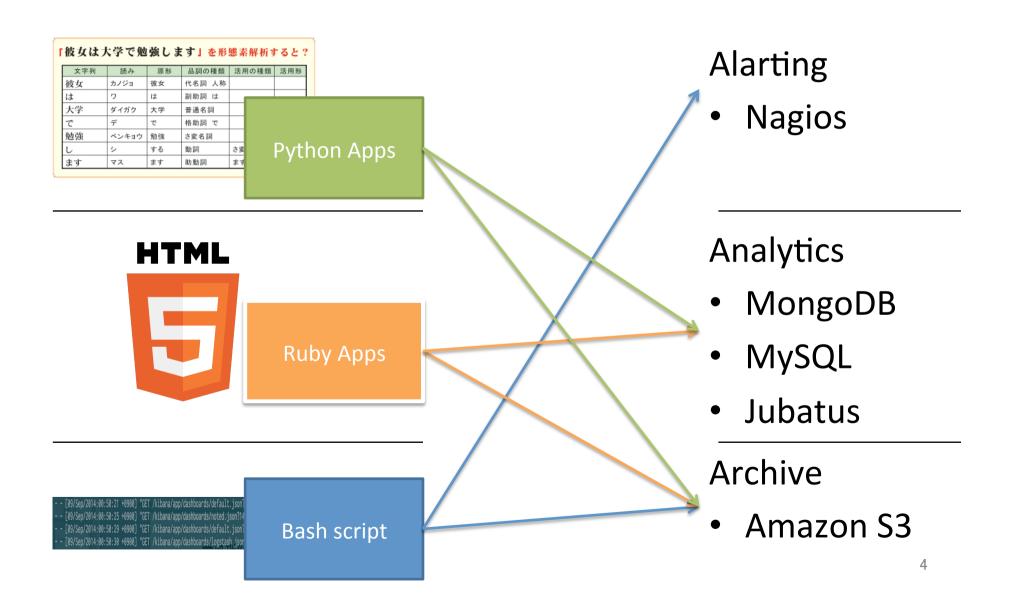
[09/Sep/2014:00:50:21 +0900] "GET	λ	a/app/dashboards/default.json?1410191421455 HTTP/1.1" 200 414
[09/Sep/2014:00:50:25 +0900] "GET		<pre>/app/dashboards/noted.json?1410191425722 HTTP/1.1" 200 4101</pre>
$-$ - $\Gamma 00/Sep/2014.00.50.20 +00007 "CET$	/ki	pp/dashboards/default_ison21410101420288_HTTP/1_1"_200

^{- [09/}Sep/2014:00:50:30 +0900] "GET /kibal (dashboards/logstash.json?1410191430626 HTTP/1.1")

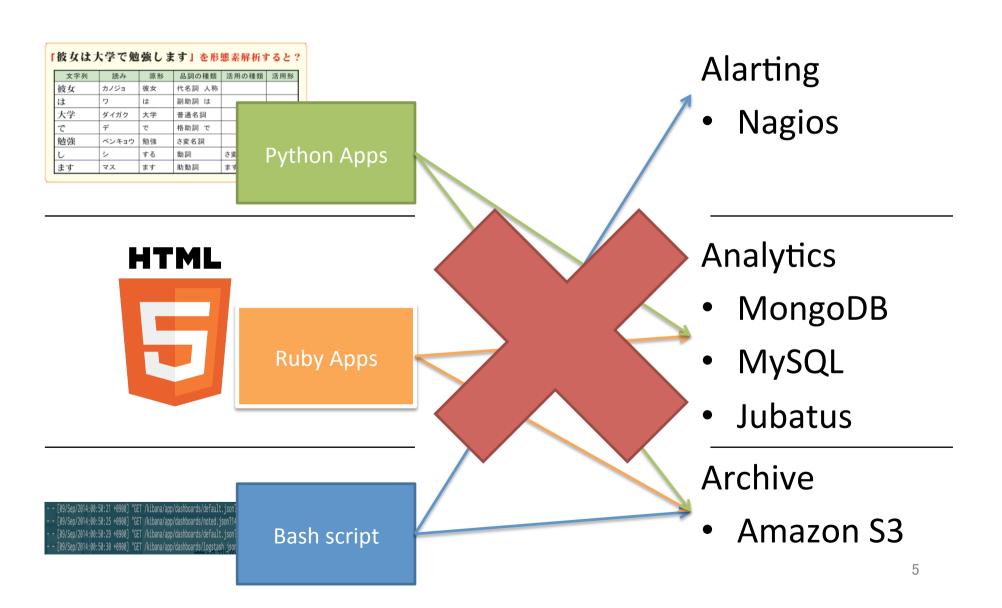
システムログ

を形態素解析すると?

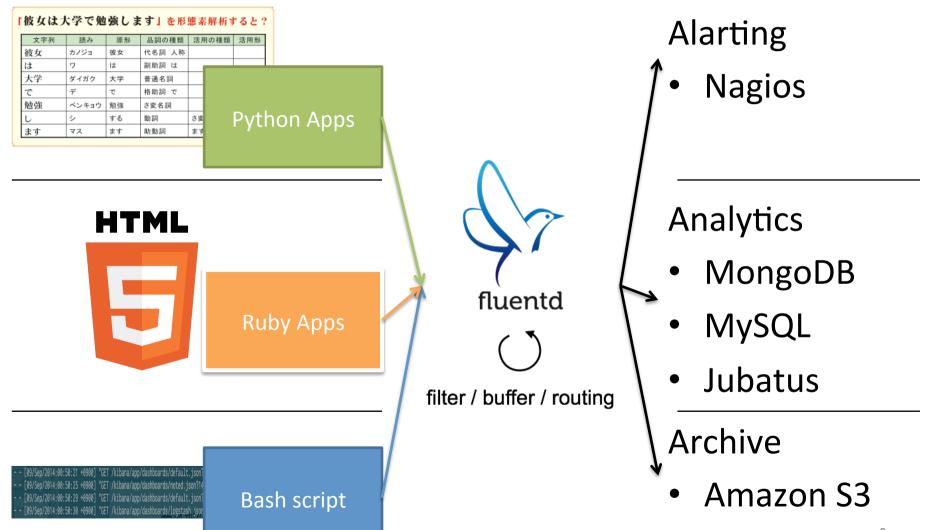
前処理後のデータ連携も一手間が必要



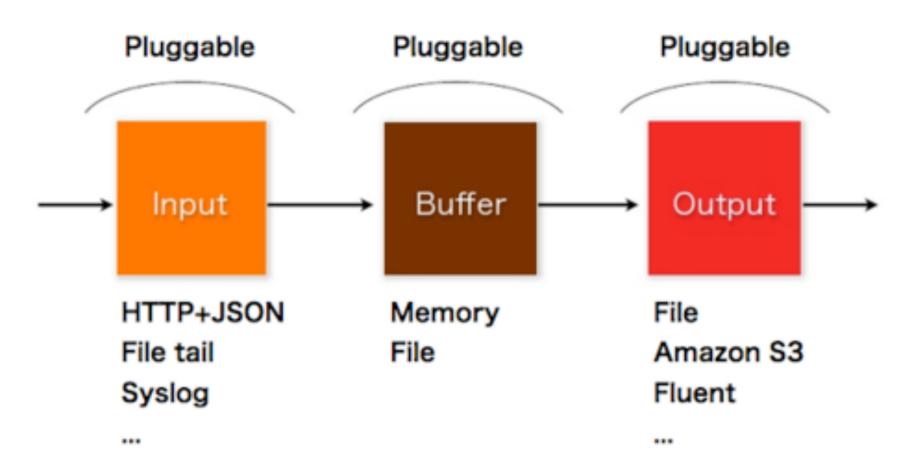
前処理以外はゆるふわっとシンプルにしたい



fluentdでデータフローをシンプルに



Pluginで入力元/出力先を容易に対応可能



引用: Internal Architecture: Input -> Buffer -> Output
http://blog.treasure-data.com/post/13047440992/fluentd-the-missing-log-collector-software

fluentdをどうやって使うの?

Ruby

```
require 'fluent-logger'
Fluent::Logger::FluentLogger.open(
    nil, :host=>'localhost', :port=>24224
)
Fluent::Logger.post("myapp.access", {"key"=>"value"})
```

fluentd

まとめ

- ・ 前処理自体は、頑張りましょう
- 前処理以外は、ゆるふわっといきましょう
- fluentdを使ってデータフローをシンプルに
 - Pluginで多種多様な入力元/出力先に対応可能
- ・ 複数のアプリケーションでのデータ連携も容易に

そう、 fluentd ならね!